

平成 27 年度 第 3 回 学校協議会報告

【日 時】 平成 28 年 2 月 19 日（金）14 時～16 時

【出席者】

学校協議会委員：岩井 英雅（元府立学校准校長）大原 武史（寝屋川市立第一中学校）
中澤 良太（北水会同窓会 副会長）神戸 尚史（校医、産業医）
宮川 順那子（PTA 定時制委員会委員長）
江口 千恵美（PTA 定時制委員会副委員長）

准 校 長：大森 孝志

事 務 局：溝端 茂樹（教頭）北村 陽子（首席・養護教諭）安田 晃（教務指導主事）
沼田 慎也（生徒指導主事）小澤 靖典（進路指導主事）舟本 孝雄（保健主事）
森 照代（4 年学年主任）林 雄大（3 年学年主任）神原 優希（2 年学年主任）
亥野 良祐（1 年学年主任）

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 准校長挨拶
- 4 協議

（1）平成 27 年度 学校教育自己診断と検討結果について

各分掌・学年より自己診断や授業アンケートなどの評価を受けて検討した結果を報告
→資料「評価結果を受けての各分掌等での検討事項（抜粋）」を参照

【提言】

- 奨学金制度の説明を保護者向けに実施してほしい。1 年生生徒には内容が難しい。
- 体育祭の日が雨天の場合は体育館で実施していたが、屋外で実施できるように予備日を設定してほしい。

（2）第 2 回 授業アンケートについて

【伸び率の高いもの】

- ① 教材活用：先生は視聴覚教材など、色々な教材を工夫して授業を行っている
- ② 生徒意識 2：授業を受けて、知識や技能が身についたと感じている
- ③ 授業計画：先生は毎時間、授業の目標や大切なポイントを説明してくれる

（3）平成 27 年度 学校経営計画及び自己評価（案）について

【伸び率の高いもの】

- 「学校の授業はわかりやすい」
- 「落ち着いて学習できる」

来年度の課題と取り組み：携帯電話での通話や返信から解放し、授業に集中できる環境を作るため携帯電話の指導を強化する。

【今年度の新たな項目について】

生徒の学校評価アンケートにおける「挨拶ができる生徒を育てる」の結果 67%（目標 60%）
全教職員による挨拶実践や准校長講話を通して生徒の意識も変わり、挨拶できる生徒が増えてきた。

【次年度に向けて】

校務検討委員会を新しい政策を考える具体的な提言をする場として充実させる。また、分掌チャレンジ（各分掌の学校経営計画推進目標）は、教員自ら取り組んでいけるようさらに発展させていきたい。

(4) 質疑応答及び意見交換

【提言】

- 小中学校でつけるべき基礎学力の不十分なところを定時制で補っていただき、就労への道をつけていく仕組みが必要である。
- 不登校の生徒には生活や健康面での課題もある。それらに対する研修も必要である。
- 学校の中に安心できる居場所を作ることが大切である。
- マナーとして、遅刻者は教室の後ろの扉から入る指導をしてほしい。
- 明月祭で食券を購入できなかった生徒がいるので、来年度はもう少し食券数を増やしてはどうか。
- 地域へ学校行事への招待状を配布する際、生徒も一緒に行ってはどうか。

会長より

学校教育自己診断の分析が各分掌、各学年で検討する機会もあり、丁寧によくできている。
ポイントを押さえて今後も生徒、保護者のために取り組みを継続して行ってほしい。